真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年3月12日

事務事業名	文化財保護・継承事業	担当課・係	教育委員会　文化課　文化財係
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	7　文化芸術の振興と文化財の保護・継承		

成果指標	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
	歴史教室参加者数	人	503					
	補助金を受け修繕された文化財の件数	件	2					
	無形民俗文化財継承者	人	210					

事業内容

文化財の保護及び継承
①指定文化財修繕支援事業
②無形民俗文化財保存育成支援事業
③文化財保護啓発事業

前年度の課題（Check）

①市内の多くの文化財が老朽化、所有者や地域の担い手の高齢化や減少が課題である。
②保存会の担い手の高齢化、後継者の減少などの課題に備え、令和６年度は３団体の動画の撮影を行い、映像記録の収集を実施し、その内容を市のHPに掲載した。
③参加者の男女比の偏り（歴史教室の女性参加者が少ない）の課題に対応するため、令和６年度の歴史教室の講師を全員女性に依頼し、事前にX等のSNSで周知を図った。

7年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
①国指定重要文化財大前神社幣殿拝殿彩色・飾り金具保存修理事業補助
②無形民俗文化財保存団体への後継者育成補助　指定9団体、その他6団体　　指定無形民俗文化財については、撮影完了
③文化財めぐり（年2回）、歴史教室開催（年6回）
全国報徳サミット真岡市大会の実行委員会立ち上げ、11月13日に第１回実行委員会、2月19日に第２回実行委員会を開催

【２】結果と課題（Check）
歴史教室参加者の高齢化・固定化
文化財の老朽化
文化財所有者の高齢化
無形民俗文化財の継承者不足

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・全国報徳サミット真岡市大会及びその関連事業の遂行

（2）長期的な計画で検討すること
文化財の老朽化対策
無形民俗文化財の後継者対策